

寄稿

新宮山彦ぐるーぶ 湯川 一郎

◇持経宿く転法輪岳・俱利迦羅岳

実施日；平成27年12月30日（水） 快晴

◇行仙宿く行仙岳・俱利迦羅岳

実施日；平成28年01月01日（金） 快晴

新宮山彦ぐるーぶ入会以前から玉置山、笠捨山、涅槃岳、中八人山などの大峰南部の山に登ってはいましたが、大部分が単独マイカーの私にとってはピークハントの登山となっていました。

今回、帰省した機会にピークハントした山と山をつなぐため、今回は持経宿から行仙宿を線でつなごうと思ひ、事前に沖崎さんから白谷・池郷林道ゲートの鍵をお借りしました。

平成27年12月30日、持経宿から行仙宿を日帰り徒歩計画で持経宿に向かった。

これまで幾度か未舗装路でのパンク経験もあり、慎重に運転していたものの、なんとゲート先2・3キロの地点、路面が石で少し盛り上がってところを通過した際、左前タイヤの側面に石が擦れパンク。すぐにスペアタイヤに交換、持経宿に着くと29日から入宿の青木さんが朝ご飯を食べているところでした。

東京からの突然の珍客に、今日は是非泊まっていきなさいとお言葉を頂戴したものの、パンクの話をし、本日は俱利迦羅岳を往復し日帰りで下山すると伝え出発した。

平治ノ宿に立ち寄り室内を確認、転法輪岳に向う。今日は暖かく無風状態、ヒメシヤラの美しい樹間から中八人山が望まれた。

俱利迦羅岳山頂では大台ヶ原、孔雀岳・釈迦ヶ岳・証誠無漏岳から中八人山への稜線が見渡せた。12月28日に登った風屋ダムの法主尾山のブナ平から見た釈迦ヶ岳には、うっすらと雪がついていたが、今日は全く雪がついていない。



中八人山

展望を満喫し、青木さんから確認依頼のあった俱利迦羅岳直下の巻道を通ってみたところ、問題となる箇所はなかった。鎖場の道はいずれ石が崩れ落ち、通行が難しくなるようだ。

持経宿に戻り、暖のある室内で昼食、青木さんからコーヒーを煎れていただき、再度パンクしないよう十分注意し帰途についた。

新宮に戻り、オートバックスで同じタイヤがあるか確認、運よく在庫があり交換した。

早速、リベンジを図るべく、元旦に行仙宿に向った。浦向までくると昨晩の雨で路面が濡れており、425号線の上で一部凍結箇所があったが、無事に補給路登山口に到着。

浦向からの合流点では、薄く凍った道をガサゴソと音を慣らしながら登る。行仙宿玄関の温度計は0.5度。

行仙岳の巻道、怒田宿跡では雪が8割、路面露出が2割程度、俱利迦羅岳山頂にはほんの少し雪がついていた。復路は行仙岳山頂に立ち寄り西側の展望を楽しむ。俱利迦羅岳よりも行仙岳の方に雪が多くついていた。



行仙岳

行仙宿まで降りてくると風もなく、陽のあたる場所で笠捨山を望みながら昼食をとり、補給路登山口へ下山した。

今回、パンクというお土産付きの山行ではありましたが、点と点を結び線となった喜びがありました。今後、太古の辻から涅槃岳、五大尊岳から本宮までの区間をつなげていきたいと考えています。

行動タイム

◇平成27年12月30日

新宮 5:43→7:11 ゲート 7:14→7:24 タイヤパンク 7:39→7:54 持経宿 8:10→8:59 平治ノ宿 9:04→9:24 転法輪岳 9:31→9:58 俱利迦羅岳 10:15→10:50 転法輪岳 10:55→11:08 平治の宿 11:10→11:58 持経宿 12:40→15:04 新宮

◇平成28年1月1日

新宮 7:21→9:01 補給路登山口 9:13→9:53 行仙宿 10:03→10:38 怒田宿跡 10:38→11:38 俱利迦羅岳 11:55→12:53 怒田宿跡 12:57→13:15 行仙岳 13:20→13:40 行仙宿 13:57→14:29 補給路登山口 14:38→14:52 白谷トンネル東口(立寄) 14:53→16:24 新宮(不動トンネル・宮井大橋経由)